

理事・副学長就任の挨拶

琉球大学理事・副学長 外間 登美子
(前保健学科 母子・国際保健学 教授)



琉球大学医学部医学科同窓会の皆さまにはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

私は本年4月1日に琉球大学理事・副学長に就任いたしました。千原の大学本部3階理事室

の窓から医学部の建物がよく眺められます。現在はベランダの南西方角に広がる医学部附属病院、臨床・基礎研究棟、保健学科棟、管理棟、シミュレーションセンター等のビル群を朝夕眺めながら仕事をしております。1982年に那覇市与儀のキャンパスから西原へ移転して以来31年間通い続けた保健学科棟を千原キャンパスより眺めるのは大変感慨深いものがあります。6月になり2カ月を経過してようやく新しい職場に慣れてきたところです。

2004年に全国の国立大学は一斉に法人化され、運営組織や人事システムが変わりました。同窓生の皆さまにも現在の大学運営はわかりにくいことと思います。現在の琉球大学は国立大学法人琉球大学により運営されております。国立大学法人法により各大学には役員会（学長、理事）と経営に関する審議機関「経営評議会」や教育研究に関する審議機関「教育研究評議会」が置かれるようになりました。琉球大学には学長の下に役員として総務・財務・施設担当、研究・企画戦略担当、教育・学生支援担当、地域国際連携・男女共同参画担当、病院・地域医療担当の5人の理事がおり、協力して学長を補佐して大学改革に取り組んでいます。私は、地域国際連携・男女共同参画を担当していますので男女共同参画事業をご紹介します。

男女共同参画に関しては、日本政府の第3次男

女共同参画基本計画（2010年）に「科学技術・学術分野における男女共同参画」が示され、文部科学省も種々の男女共同参画推進策を進めています。琉球大学は2011年度に男女共同参画室を設置して、男女共同参画宣言と基本方針を策定しました。2012年度から文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」の助成金を得て男女共同参画室に「うない研究者支援センター」が開設されました。女性研究者支援事業として支援相談体制を整備、メンター制度と研究補助員配置制度を設置、女性研究者採用のためのポジティブアクションに取り組んでいます。女性教員比率は2015年度末までに17%に上げることを数値目標としております。女性教員増加のためのインセンティブ経費も措置されました。同時に女性教職員の指導的地位への登用も努力目標にしています。大学には知の拠点という普遍的な役割がありますが、男女共同参画の面からも琉球大学が地域の模範となるように願っています。

琉球大学のLandgrant大学としての伝統は医学部設置によりさらに鮮明になったように思います。琉球大学医学部医学科第1期生の入学式は1981年4月に那覇市首里の当蔵の体育館で行われました。入学式当日のことは今でもよく覚えております。以来30年余、卒業生は27期を数えます。小児科の金城紀子先生が同窓会長を務められたことがあり、これまでも医学科同窓会には大変関心を持っておりました。先日、増田会長に同窓会の医師国家試験対策支援活動等の事業を伺い、医学科同窓会が大変力強い同窓会であることを改めて認識いたしました。今後とも母校の発展にご協力ご支援を賜りますようにどうぞよろしくお願いいたします。